

不法投棄1万トン以上か

警 査 課

廃棄物処理法
違反の疑い

伊賀の業者逮捕

【伊賀】県警生活環境課と伊賀署は十八日、廃棄物処理法違反の疑いで、伊賀市榎山、鉾山業服部泰治容疑者(五七)を逮捕した。

逮捕容疑は昨年十月ごろ、伊賀市榎山の根組原鉾山で、同市や鈴鹿市での家

屋解体工事で生じた瓦くずや木くず、壁土などの廃棄物計約百十トンを不法投棄した疑い。容疑を認めているという。

同課によると、現場では平成十一年ごろから不法投棄が繰り返され、埋設量は

一万トン以上といい、服部容疑者が投棄したとみて調べている。

県廃棄物監視・指導室からの通報で容疑が発覚した。服部容疑者は、四トントラックなどで運搬し、重機で掘った穴に廃棄物を埋め立てて覆土する方法で投棄していたという。

服部容疑者は十五年前ごろまでに、地権者と鉾物探掘土地使用契約を締結。当初は陶器用の耐火粘土を採掘していたが、十七年九月一ことし八月までは休止している。